

チャット形式での AI 間コミュニケーションは実現されているものの、AI を組み込んだアバター（AI アバター）間での音声コミュニケーションへの展開は発展途上にある。そこで本研究では、仮想空間内の AI アバター間コミュニケーションが、実生活で有効活用可能であることを示すために、パーソナルケア・アドバイスを行う対話型 AI アバターシステムを構築した。本システムは、PDF 上に記録されたユーザのバイタルデータを参照しつつ音声コミュニケーションする

機能を有する。図 1 は、AI アバターによるバイタルデータの取り込み経路を表す。バイタルデータの計測機能を有するスマートウォッチ（Fitbit）で得たデータに基づいて、仮想空間内で議論を行うためのプロンプトが作成され、AI アバター間の議論では適宜バイタルデータが取り込まれる仕組みとなっている。なお大規模言語モデルとしては OpenAI の GPT-4 を利用した。

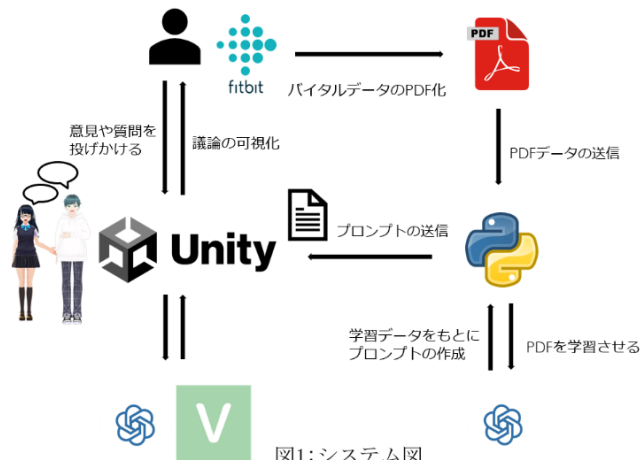


図1: システム図